



4.レストランは講堂だった場所。天井や梁は講堂のイメージを再現している。5.全48室は部屋ごとに趣が異なる。天井などに元教室であった名残がある。6.ルーフトップバーからは八坂の塔をはじめ360度、京都の絶景を一望できる。

天皇が京都から東京に移られたことで、京都の人々は危機感を持ち、文化水準維持のために自らお金を出し合ってこどもたちの学びの場を創設した。番組小学校と呼ばれる64校の小学校だ。明治政府が学校制度を整える3年も前の1869年のことだ。清水小学校もそのひとつであり、2011年の春に閉校になるまで、地元で愛される学校として存在していた。1933年に元の場所から現在の場所に移転し、鉄筋コンクリートの校舎が新築された。当時の状況について、ザ・ホテル青龍京都清水の広報・清野了平さんに伺った。

「番組小学校はそれぞれに切磋琢磨し合っていて、他校よりも良い校舎にすることを目指していたそうです。戦前の昭和初期は、学校建築でもヨーロッパ風のモダンな校舎が次々と建てられた時期でした。なかでも清水小学校は外観、内装とも唯一無二の特徴を持つ建築物として評価された学校のひとつだったと伝えられています」



Information -
 ■ザ・ホテル青龍 京都清水
 連絡先／075-532-1111
 住所／京都府京都市東山区清水二丁目 204-2
<https://www.seiryukiyomizu.com/>



下にも木製の腕木を取り付けてあるのは、機能上の必要性ではなくデザインとして施されたものだ。さらに、アーチ状の連窓や、内部の曲線的な梁など、意匠性の高いものは極力当時のものを活かしつつ、老朽化で修復が必要な部分は復元している。

普通のホテルなら通り過ぎるだけの廊下や階段、天井、窓など、ヘリテージを探しながら美術館を巡るようにホテル内を散策してもらいたいと清野さんは語る。

誰もが持つ小学校への想いや懐かしさ。そうした記憶を刻んできた建物の香りを感じながら、一流のサービスを味わう。新たな旅のスタイルを楽しめそうだ。



1.小学校当時の廊下と階段。曲線の梁や階段はそのままホテルにも活かされている。2.現在の階段。よく見ると内側の段鼻（階段面の木製の部分）がすり減っている。生徒たちが頻繁に歩いた位置を想像しながら歩くのも楽しい。3.現在の廊下に敷かれたカーペットは、「青龍」の鱗をイメージしたもの。

primary school



京都

ザ・ホテル

青龍 京都清水

学び舎の歴史と記憶を刻み、
 ホテルとして未来へ向かう。



ホテル中央を貫く大階段も学校当時からあったものを改修。上部はくつろぎのテラスに。

小学校を保存・活用し、ラグジュアリーホテルとして生まれ変わった

「ザ・ホテル青龍 京都清水」その細部に迫った。

日本有数の観光地・京都。なかでも清水寺は、内外の観光客が必ず訪れると言っても過言ではない人気の定番。その清水寺のすぐ足もとである清水坂沿いに、「ザ・ホテル青龍 京都清水」はある。元京都市立清水小学校の校舎を改装したホテルだ。

東山を借景とし、傾斜地に建っていることから、京都全体を見渡すことができる絶好のビュースポットでもある。この立地に、公立小学校があつたこと自体が驚きだ。そして、生まれ変わったホテルが学び舎の面影を色濃く残しながら、一流のサービスを提供することにも心を動かされる。

明治維新の際、東京奠都により